

令和7年度大府市自立支援協議会研修会 報告書

1 実施状況

- 日 時:令和7年9月3日(水)午後1時30分～午後3時30分
- 場 所:大府市役所地下会議室 001・002・003
- 実施方法:集合形態
- 出席者 :39名

2 概要

・昨年度からの2か年テーマである『外国籍の利用者・家族への適切な関わりを目指して』の第2回目として研修実施。昨年度は外国籍の方が日本で生活をするための手続きなど基本的な知識を得ることを目的に行ったが、令和7年度は、あいち多文化共生センターから講師を招き、講義とグループワークを通し外国籍の方の文化的背景や考え方の違いを理解し、適切な関わり方や支援機関(社会資源)について知ることを目的として実施。

3 研修内容

「外国籍の方の文化的背景や考え方の違いを理解する <関わり方のヒント編>

講師: 愛知県国際交流協会あいち多文化共生センター 多文化ソーシャルワーカー 宮丸千尋氏

【講義】

- ・『多分化いろいろクイズ』…愛知県と大府市の外国人住民数、フィリピンやブラジルの言語等
- ・人種、名前の表記や構成(ミドルネーム)など
- ・事例を用いて具体的な場面における実践例など
- ・ブラジルやフィリピン国籍を例に宗教、兵役制度、選挙、総領事館などについて
- ・ジェスチャーの意味や使う場面など
- ・あいち多文化共生センターについて紹介

【グループワーク】

- ・外国人支援のためのフェイスシート(相談者基本情報)の項目を考える
- ・ワークシートを用いた個人ワークからグループごとに意見交換を行い模造紙にまとめる
- ・グループによる発表、講師講評

4 アンケート結果

●参加者

- ・福祉サービス事業所 児・者(4名・12名)
- ・福祉サービス事業所 不明(3名)
- ・医療機関(1名)
- ・行政(6名)
- ・その他(2名)

●研修の満足度

○講義

・とてもよかった(25)よかった(3)

<理由>

- ・おもしろく分かりやすかった。目から鱗で使える情報が沢山あった。
- ・具体的な話が多くイメージしながら話が聞けた。アセスメント時の視点が学べた。
- ・講義のクイズに殆ど正解出来ず理解不足だとよく分かった。
- ・講師の方の話の進め方がテンポよく楽しみながら学べた。
- ・講義で基礎を学び、その上でグループワークを行ったので分かりやすかった。

○グループワーク

・とてもよかった(22)よかった(4)未記入(2)

●講義及びグループワークの感想

- ・外国籍の方に対する普段の支援や関わり方を見直したいと思った。
- ・グループワークでは様々な分野の方から現場の生の声を聞いた。
- ・選挙や兵役について自分から学べる機会がないため貴重な経験になった。
- ・外国籍の方が占める割合を考えると、今後関わる可能性が高いので幅広くアンテナを張りたい。
- ・より良い支援にするためには文化や言語、宗教など国について知ることが大切だと学んだ。
- ・外国籍の方に日本について無理やり教え知ることを強要するのではなく、こちらから歩み寄ることがワーカーの役割だと思う。
- ・日本で当たり前のことは当たり前ではないという言葉を意識しながら、寄り添った支援を行えるよう努めたい。

●ご意見等

- ・外国籍の方であっても、日本人と同じようなサービスを受けられるような支援を今後も心がけたい。
- ・普段知れないことを知ることが出来た。
- ・身近で困っている方に、あいち多文化共生センターを紹介してみようと思う。
- ・今回の研修の第2弾が聞きたい。
- ・協議会委員の入念な準備のお陰でスムーズな研修会だった。
- ・研修は今回のような時間だとありがたい。

